



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月4日

上場会社名 レンゴー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3941 URL <https://www.rengo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 川本 洋祐

問合せ先責任者 (役職名) 理事 経本部長兼経理部長 (氏名) 山崎 宏信

TEL 06-6223-2371

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	558,854	9.7	29,712	4.7	32,559	3.5	25,865	11.9
2021年3月期第3四半期	509,285	0.8	31,192	10.6	33,748	7.4	23,120	7.5

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 32,175百万円 (9.6%) 2021年3月期第3四半期 29,363百万円 (30.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	104.45	
2021年3月期第3四半期	93.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	941,161	350,336	35.9
2021年3月期	869,992	324,463	36.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 338,074百万円 2021年3月期 313,326百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		12.00		12.00	24.00
2022年3月期		12.00			
2022年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	745,000	9.4	34,000	14.9	37,000	14.4	28,000	2.1	113.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、[添付資料]P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	271,056,029 株	2021年3月期	271,056,029 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	23,428,337 株	2021年3月期	23,471,185 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	247,625,162 株	2021年3月期3Q	247,586,826 株

(注)当社は前第2四半期連結会計期間より、取締役等に対し、信託を用いた株式報酬制度を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う景気悪化から需要が回復傾向となったことにより558,854百万円(前年同期比109.7%)と増収となりました。利益につきましては、原燃料価格の上昇の影響により営業利益は29,712百万円(同95.3%)、経常利益は32,559百万円(同96.5%)と減益となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別利益に固定資産売却益を計上したことから25,865百万円(同111.9%)と増益となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用が経営成績に与える影響の詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)、(収益認識に関する会計基準等の適用)および(セグメント情報等)、(セグメント情報) 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの概況は、次のとおりであります。

[板紙・紙加工関連事業]

板紙・紙加工関連事業につきましては、販売量の増加により増収となりましたが、原燃料価格の上昇や固定費の増加の影響により、減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は340,193百万円(同103.7%)、営業利益は21,220百万円(同92.3%)となりました。

[軟包装関連事業]

軟包装関連事業につきましては、連結子会社の増加により増収となりましたが、原料価格の上昇により、減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は70,705百万円(同115.7%)、営業利益は2,098百万円(同67.1%)となりました。

[重包装関連事業]

重包装関連事業につきましては、業務用食品関連の需要減および原料価格の上昇等により、減収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は31,725百万円(同97.8%)、営業利益は1,341百万円(同89.4%)となりました。

[海外関連事業]

海外関連事業につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大によって落ち込んだ需要が、回復傾向となったことにより、増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は90,564百万円(同143.5%)、営業利益は3,606百万円(同180.4%)となりました。

[その他の事業]

その他の事業につきましては、紙器機械等の需要が持ち直したことにより、増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は25,665百万円(同105.1%)、営業利益は1,482百万円(同104.4%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、主に受取手形及び売掛金の増加や有形固定資産の増加により、941,161百万円となり、前連結会計年度末に比べ71,169百万円増加しました。

負債は、主に支払手形及び買掛金の増加や長短借入金の増加により590,825百万円となり、前連結会計年度末に比べ45,296百万円増加しました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加や、為替レートの変動に伴う為替換算調整勘定の増加により、350,336百万円となり、前連結会計年度末に比べ25,873百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は35.9%となり、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント低下しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2021年5月13日に公表した業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2022年2月2日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(単位：百万円 %)

	2021年3月期	2022年3月期 予想	前年比
売上高	680,714	745,000	109.4
営業利益	39,938	34,000	85.1
経常利益	43,200	37,000	85.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	28,599	28,000	97.9
1株当たり 当期純利益	115円51銭	113円07銭	△2円44銭
設備投資額	47,143	55,000	116.7
減価償却費	38,114	41,000	107.6

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,380	66,731
受取手形及び売掛金	197,190	232,475
商品及び製品	25,858	29,660
仕掛品	3,773	4,880
原材料及び貯蔵品	22,176	27,881
その他	8,251	8,961
貸倒引当金	△654	△681
流動資産合計	308,976	369,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	272,573	295,098
減価償却累計額	△166,333	△178,341
建物及び構築物（純額）	106,240	116,756
機械装置及び運搬具	552,944	602,343
減価償却累計額	△433,790	△486,280
機械装置及び運搬具（純額）	119,154	116,062
土地	118,608	122,185
建設仮勘定	8,750	11,357
その他	38,807	42,383
減価償却累計額	△24,466	△27,510
その他（純額）	14,340	14,873
有形固定資産合計	367,094	381,234
無形固定資産		
のれん	19,157	18,900
その他	16,117	15,877
無形固定資産合計	35,274	34,777
投資その他の資産		
投資有価証券	136,172	130,510
長期貸付金	406	610
退職給付に係る資産	3,159	3,122
繰延税金資産	1,946	1,684
その他	17,968	20,438
貸倒引当金	△1,006	△1,128
投資その他の資産合計	158,646	155,239
固定資産合計	561,016	571,251
資産合計	869,992	941,161

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	112,897	135,401
短期借入金	104,586	106,519
1年内償還予定の社債	10,030	5,250
未払費用	26,748	26,799
未払法人税等	7,483	3,311
役員賞与引当金	252	-
関係会社整理損失引当金	470	-
その他	32,277	31,266
流動負債合計	294,747	308,548
固定負債		
社債	65,030	80,015
長期借入金	141,294	153,861
繰延税金負債	22,421	23,783
役員退職慰労引当金	635	630
役員株式給付引当金	208	379
退職給付に係る負債	11,578	13,435
その他	9,614	10,170
固定負債合計	250,782	282,276
負債合計	545,529	590,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,066	31,066
資本剰余金	33,731	33,381
利益剰余金	215,899	235,818
自己株式	△12,253	△12,218
株主資本合計	268,443	288,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,787	34,673
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	5,394	11,939
退職給付に係る調整累計額	3,701	3,412
その他の包括利益累計額合計	44,883	50,025
非支配株主持分	11,136	12,261
純資産合計	324,463	350,336
負債純資産合計	869,992	941,161

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	509,285	558,854
売上原価	409,350	453,098
売上総利益	99,934	105,755
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	16,515	19,098
給料及び手当	21,028	23,464
のれん償却額	1,496	1,611
その他	29,700	31,868
販売費及び一般管理費合計	68,741	76,042
営業利益	31,192	29,712
営業外収益		
受取利息	291	115
受取配当金	1,669	1,693
持分法による投資利益	2,116	1,944
その他	1,471	1,836
営業外収益合計	5,549	5,590
営業外費用		
支払利息	1,260	1,179
その他	1,733	1,565
営業外費用合計	2,993	2,744
経常利益	33,748	32,559
特別利益		
固定資産売却益	20	4,503
投資有価証券売却益	232	1,700
その他	101	343
特別利益合計	353	6,547
特別損失		
投資有価証券売却損	-	610
固定資産除売却損	766	385
その他	592	807
特別損失合計	1,358	1,803
税金等調整前四半期純利益	32,743	37,302
法人税、住民税及び事業税	8,199	8,843
法人税等調整額	955	1,707
法人税等合計	9,155	10,550
四半期純利益	23,588	26,752
非支配株主に帰属する四半期純利益	467	887
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,120	25,865

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	23,588	26,752
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,175	△1,369
為替換算調整勘定	△1,737	5,306
退職給付に係る調整額	16	△318
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,679	1,804
その他の包括利益合計	5,774	5,423
四半期包括利益	29,363	32,175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,905	31,007
非支配株主に係る四半期包括利益	457	1,167

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、一部の取引に係る収益について、従来は、顧客から受け取る対価の総額で収益を認識しておりましたが、顧客への財またはサービスの提供における役割(本人または代理人)を判断した結果、総額から仕入先に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識する方法に変更しております。

また、原材料を支給し、加工後の製品を買い戻した上で第三者に販売する有償支給取引について、従来は、支給先から受け取る対価を収益として認識しておりましたが、当該収益を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,305百万円減少し、売上原価は9,002百万円減少し、販売費及び一般管理費は1,307百万円減少しております。また、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益および利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微であります。

(時価算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 ※1 (百万円)	調整額 ※2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 ※3 (百万円)
	板紙・ 紙加工 関連事業 (百万円)	軟包装 関連事業 (百万円)	重包装 関連事業 (百万円)	海外 関連事業 (百万円)	計 (百万円)			
売上高								
外部顧客 への売上高	328,194	61,127	32,427	63,104	484,854	24,431	—	509,285
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,368	118	2,380	3,217	7,084	19,955	△27,040	—
計	329,562	61,246	34,807	66,321	491,938	44,387	△27,040	509,285
セグメント利益	22,986	3,126	1,500	1,999	29,613	1,419	159	31,192

※1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内における不織布、紙器機械の製造・販売、運送事業、保険代理業、リース業および不動産業を含んでおります。

※2 セグメント利益の調整額159百万円は、セグメント間取引消去であります。

※3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 ※1 (百万円)	調整額 ※2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 ※3 (百万円)
	板紙・ 紙加工 関連事業 (百万円)	軟包装 関連事業 (百万円)	重包装 関連事業 (百万円)	海外 関連事業 (百万円)	計 (百万円)			
売上高								
外部顧客 への売上高	340,193	70,705	31,725	90,564	533,188	25,665	—	558,854
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,996	351	2,495	2,920	7,763	20,695	△28,458	—
計	342,189	71,056	34,220	93,484	540,951	46,361	△28,458	558,854
セグメント利益	21,220	2,098	1,341	3,606	28,266	1,482	△36	29,712

※1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内における不織布、紙器機械の製造・販売、運送事業、保険代理業、リース業および不動産業を含んでおります。

※2 セグメント利益の調整額△36百万円は、セグメント間取引消去であります。

※3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「板紙・紙加工関連事業」の売上高は8,057百万円減少し、「軟包装関連事業」の売上高は261百万円減少し、「重包装関連事業」の売上高は1,984百万円減少し、「その他」の売上高は2百万円減少しております。また、セグメント利益に与える影響は軽微であります。

(重要な後発事象)

(マレーシア子会社の豪雨による浸水被害について)

2021年12月17日から12月18日にかけてマレー半島中央部で発生した豪雨により、当社の連結子会社でありますレンゴー・パッケージング・マレーシア社(12月決算)の本社工場(マレーシア セランゴール州シャーアラム地区)が浸水被害を受けました。

この浸水被害による損失額につきましては現在調査中ではありますが、浸水した工場に2021年11月30日時点で現存する棚卸資産および有形固定資産の帳簿価額は約1,430百万円(53,900千マレーシアリングット)であります。なお、当該資産には保険が付されておりますが、実際の補填額につきましては現時点では未確定であります。